

埋文 あらかると

富山の歴史出張 プロジェクト (出張埋文センター)



出張埋文センターの役割

当センターでは、県内の諸学校に対して随時「出前授業」を行っています。各学校からの依頼を受け、伺いますので、「出前授業」の対象は県内の児童・生徒になります。

この「富山の歴史出張プロジェクト(出張埋文センター)」では、県内市町村教育委員会と連携し、イベントでの講演や体験に協力します。対象は県民とし、広く多くの方に我が県の通史や埋蔵文化財について興味・関心をもっていただくものです。

以下、今年度の取組について紹介します。

出張埋文センター in 氷見

11月3日(土・祝)に柳田布尾山古墳まつり実行委員会と氷見市教育委員会の主催で行われた「一発見20周年記念-柳田布尾山古墳まつり」で開催しました。

柳田布尾山古墳発見20周年ということから、「氷見市」「古墳」に因んだ体験をしたいという氷見市教育委員会の提案を受け、「古代甲冑体験」「朝日貝塚出土土器パズル体験」のブース、柳田布尾山古墳館内での活動ということで、「組みも体験」ブースを設置しました。

○「古代甲冑体験」

柳田布尾山古墳館3階で行いました。対象は子供とし、当日先着順で受付を行いました。全7回の予定に対し、7名が体験しました。この古代甲冑は氷見市上田のイヨダノヤマ古墳群から出土した甲冑をモチーフとして作成したものです。

甲冑は自分で着ることができないので、当センターの職員2名が着付けを行いました。

甲冑を身に着けた後は、弓や刀を持って古墳をバックにポーズです。保護者の方々が何枚も写真を撮っておられました。

子供達も古代の武人になりきっていたようです。



＜着付けの様子＞



＜ポーズをとる子供＞

○「朝日貝塚出土土器パズル体験」

柳田布尾山古墳館3階で行いました。氷見市の朝日貝塚から出土した土器と朝日町の境A遺跡から出土した土器をモデルにした復元パズルです。土器の復元を味わうことができます。ピースの中には磁石が入っているので、正しく組み合わせるとカチッと付きます。

しかし、どの面と面が合うのかは土器の文様やピースの形をいろいろ合わせてみないと分かりません。たくさんの子供や大人が試行錯誤しながら楽しんでいる様子を見ることができました。



＜土器パズルを楽しむ様子＞

○「組みも体験」

柳田布尾山古墳館2階で行いました。古代甲冑体験同様に当日先着順での受付を行いました。全7回の体験に対し、47名の方が体験されました。

当センター職員2名と埋文ボランティア2名の計4名が対応しました。初めて組みもに触れる方がほとんどで、最初は難しい様子もありました。しかし、要領が分かるとスムーズに組みひもを完成させたり、他の組みひもに興味をもたれたりする方もおられました。



＜説明をするセンター職員＞



＜体験補助の埋文ボランティア＞

おわりに

当センターでは、呉羽にあるセンターに直接来ることが困難な遠方の市町村への対応もしております。

公民館行事などにも対応しておりますので、関心をもたれたら、「富山の歴史出張プロジェクト(出張埋文センター)」について、お気軽に連絡・問合せしてください。お待ちしております。(橘 泰弘)